

水膨張ゴム弾性シール材
アデカウルトラシール[®]

施工要領

一般的な水平面に施工する場合



必要な用具



使用するウルトラシール製品

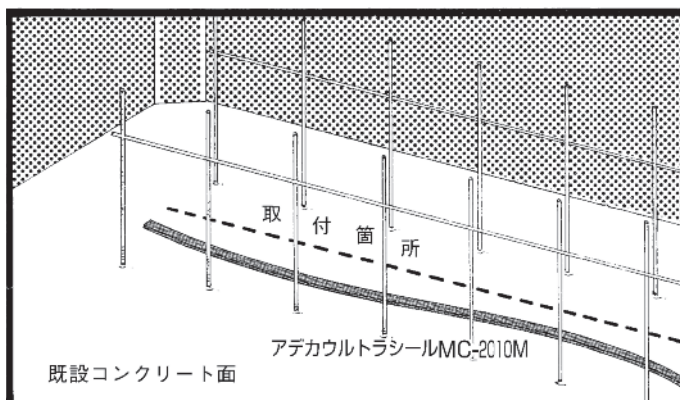
アデカウルトラシールMC-2010M

アデカウルトラボンド H-1000

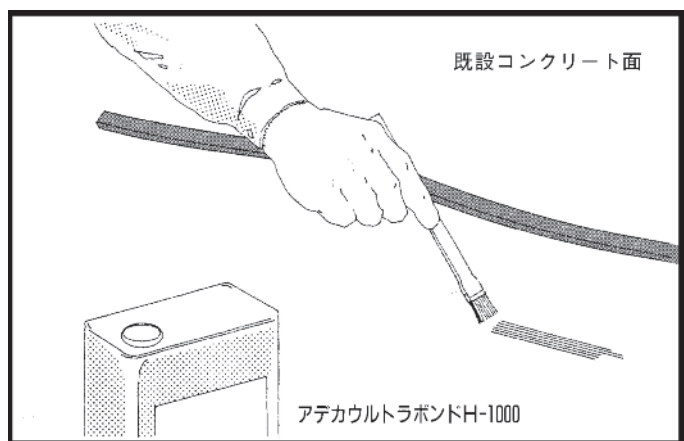
施工手順（ボンドで接着する場合）



1 ワイヤブラシ等でコンクリート面のゴミおよびレタンス等を取り除きます。

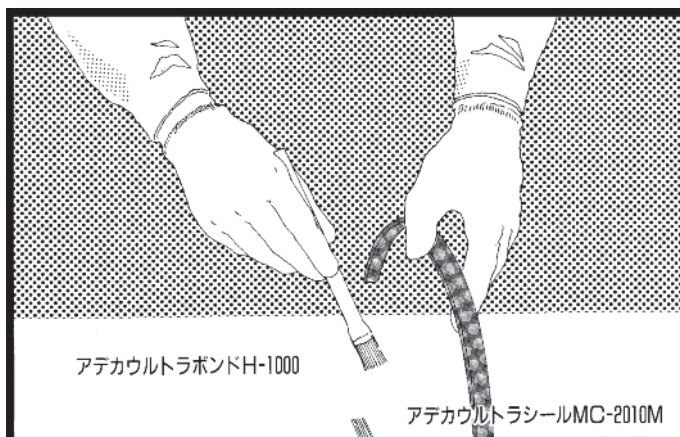


2 アデカウルトラシールMC-2010Mを適当な長さ取り出し、よじれを直し取り付け箇所に平行に置きます。



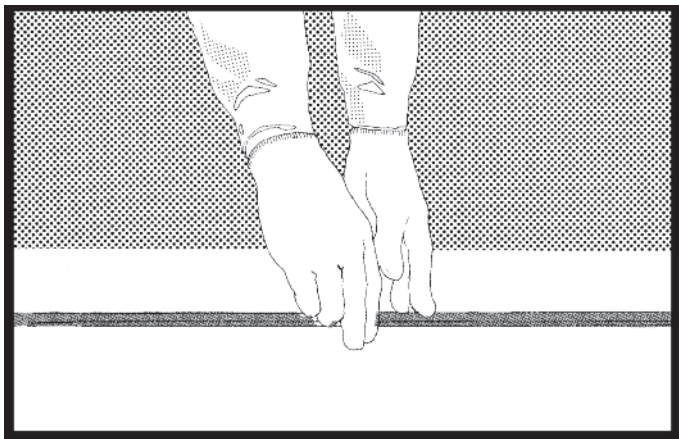
アデカウルトラシール MC-2010Mの接着面にも、アデカウルトラボンド H-1000を塗布します。

3 アデカウルトラシールを取り付けるコンクリート面に、接着剤アデカウルトラボンド H-1000を塗布します。

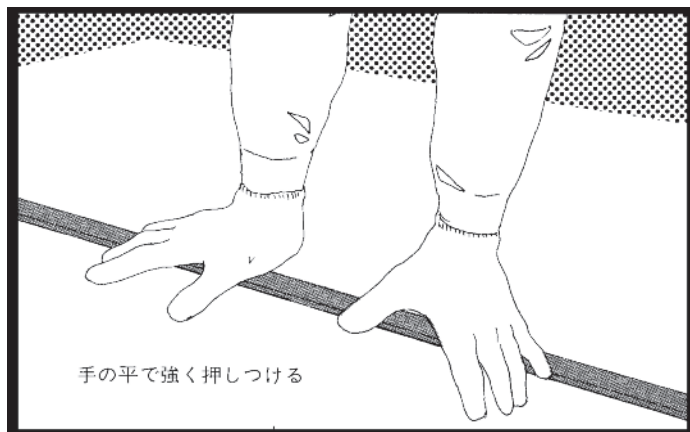


4

塗布面が乾燥したら（乾燥時間は夏期15分、冬期30分程度）指で押さえつけながらウルトラシールを貼りつけます。

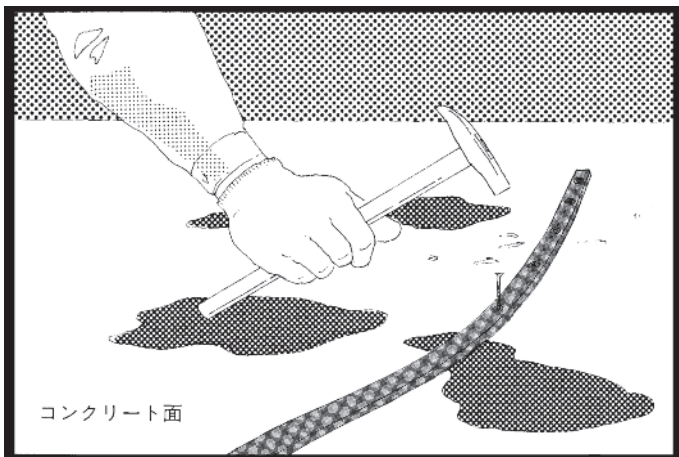


ひとつおもり貼りつけたら、再度手の平で強く押しつけます。



手の平で強く押しつける

施工手順（釘打ち施工の場合）



コンクリート面

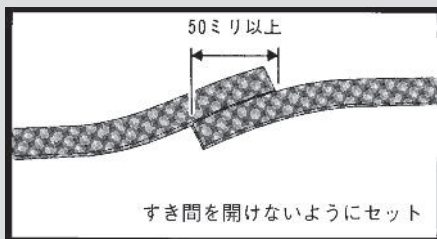
38ミリコンクリート釘を25～30cm間隔で打ちつけ、固定して下さい。コンクリート面に密着しない場合には、釘の間隔を適宜せばめ、またウルトラシールをやや引っ張るようにして釘打ちし、浮きあがりを防止して下さい。

コンクリート面が湿っている場合には釘打ちにより施工して下さい。

▶ ウルトラシールどうしのつなぎ目は？

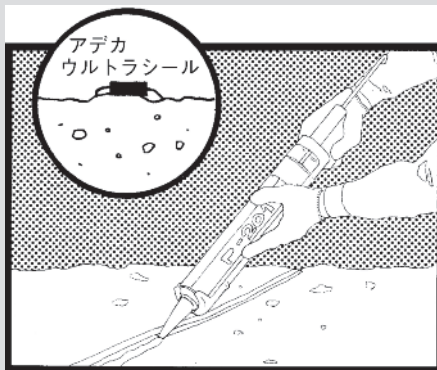
ウルトラシール端末部接続

ウルトラシールの端末部をすき間の開かないように50ミリ以上オーバーラップさせます。



すき間を開けないようにセット

▶ コンクリート面の凹凸が多いとき



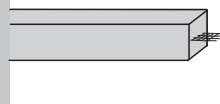
MC-2010Mの両側にP-201を切れ目なく塗布し、浮きあがりによるすき間を塞ぎます。

ウルトラシール取り付け箇所の状況により、下記製品をご利用下さい。

アデカウルトラシール MCシリーズ

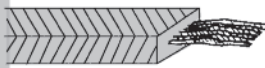
コンクリート厚が小さく、カブリが75～100ミリのとき

アデカウルトラシールMC-1010M



ウルトラシール設置後に冠水の恐れがあるとき

アデカウルトラシールMC-2010MP



表面コーティング

H鋼まわりに施工する場合



必要な用具



使用するウルトラシール製品

アデカウルトラシールP-201

アデカウルトラシール MC-2005T

施工手順 (MC-2005T使用の場合)



1

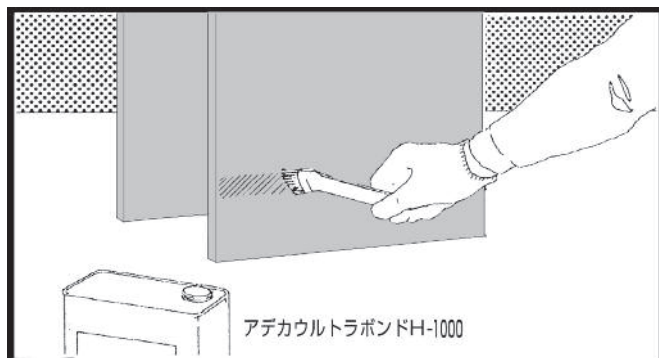
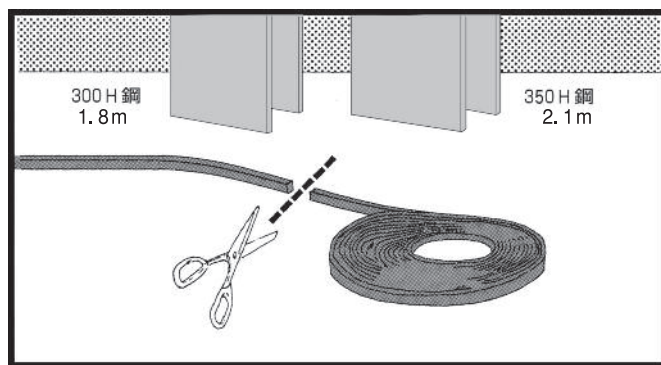
ケレン棒、ワイヤブラシ等でH鋼表面を清掃。
接着面のサビや汚れを除去し、水気をとります。

2

アデカウルトラシールを規定の長さに切断します。

300H鋼 → 1.8m

350H鋼 → 2.1m

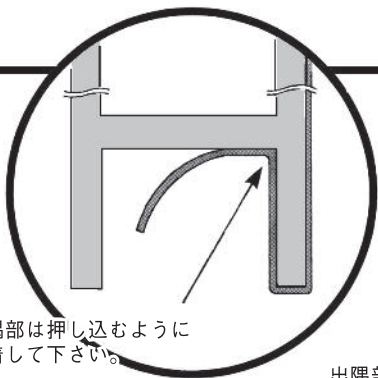


3

H鋼まわりに、接着剤アデカウルトラボンドH-1000
を塗布します。



アデカウルトラシールMC-2005T

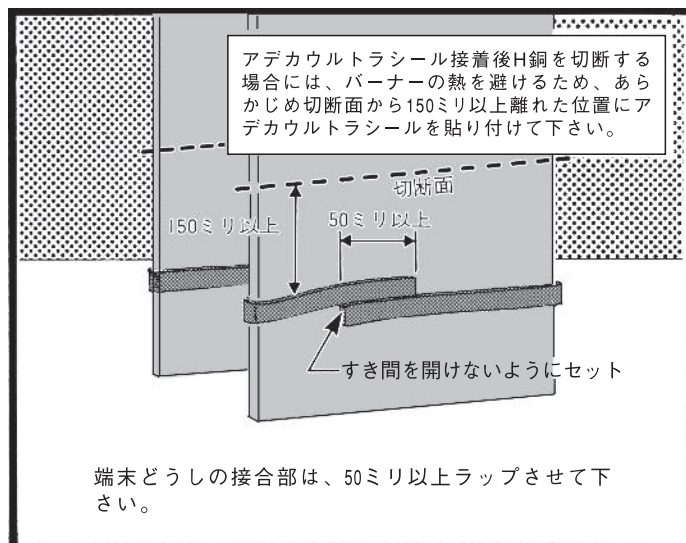


入隅部は押し込むように
接着して下さい。

出隅部は若干引っ張るように
貼り付けて下さい。

4

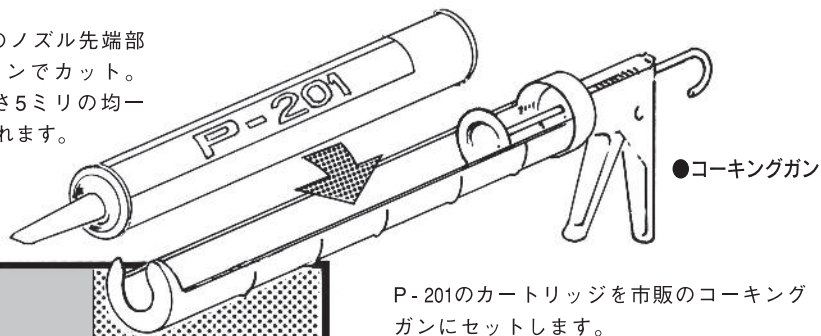
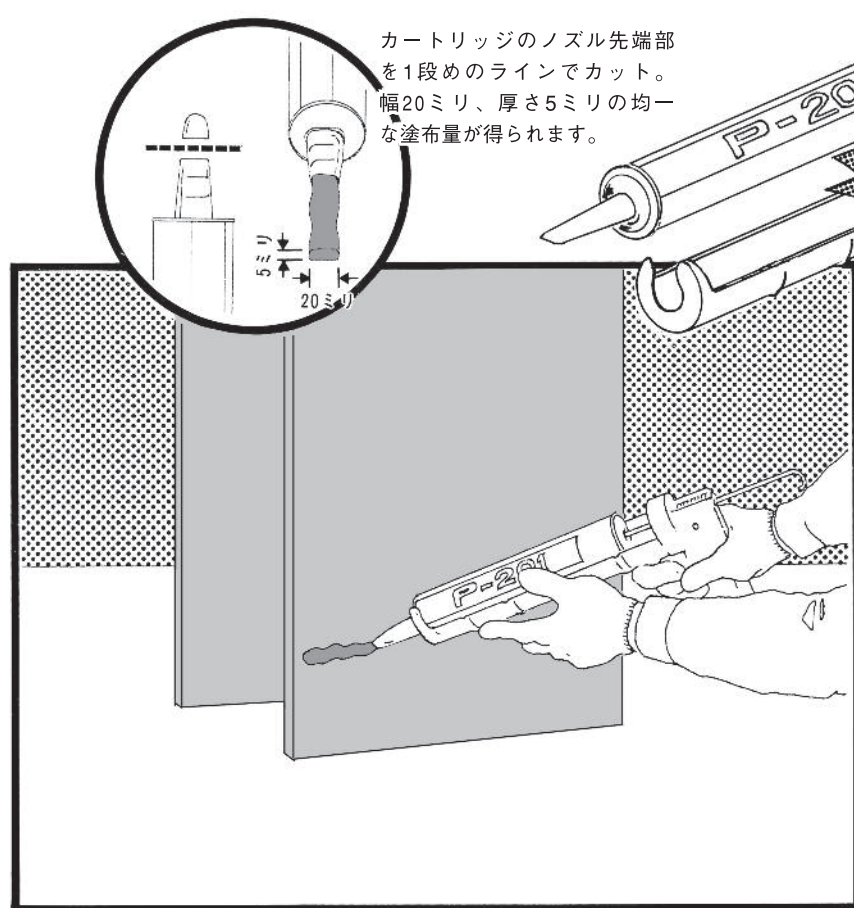
接着剤塗布後、表面が乾燥状態になったら（夏期15分、冬期30分程度）アデカウルトラシールを貼りつけます。



端末どうしの接合部は、50ミリ以上ラップさせて下さい。

アデカウルトラシールが、H鋼表面に確実に密着しているか確認して下さい。浮いた箇所がある場合には、もう一度押しつけて下さい。

施工手順 (P-201使用の場合)

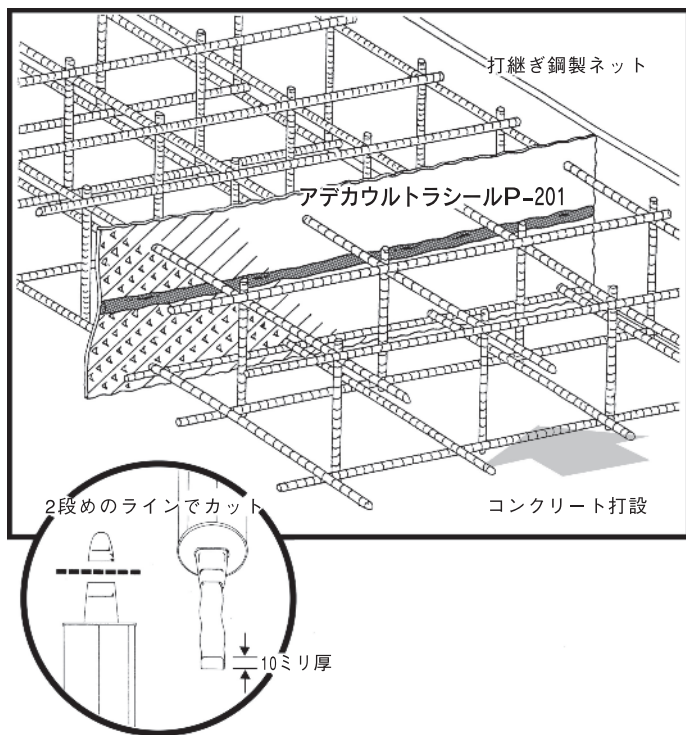


P-201のカートリッジを市販のコーキングガンにセットします。

〔施 工〕

ワイヤブラシ等でH鋼表面を清掃したのち、アデカウルトラシールP-201を連続的に切れ目なく塗布して下さい。硬化時間は24～36時間。コンクリート打設の2日前に施工を終了して下さい。また、塗布後硬化するまでは、冠水させないようにして下さい。多少の雨程度は、問題ありません。

打ち継ぎ鋼製ネットに使用する場合



必要な用具

- コーキングガン
- ワイヤブラシ
- 掃除用具

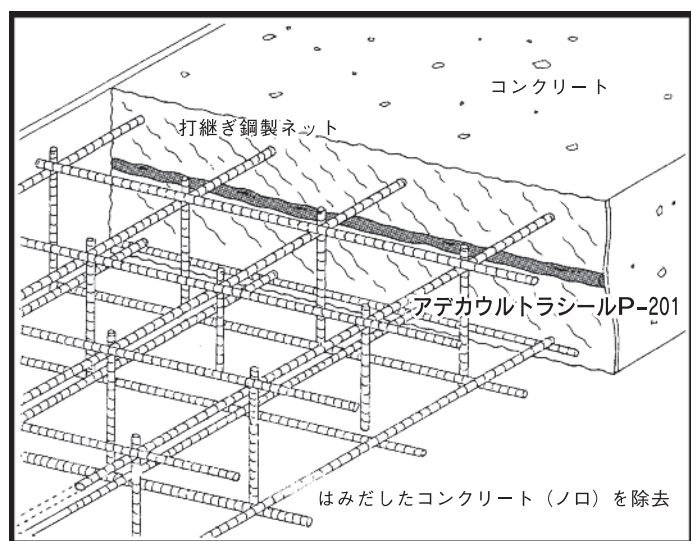
使用するウルトラシール製品

- アデカウルトラシールP-201

1 打ち継ぎ鋼製ネットのコンクリート打設側に、アデカウルトラシールP-201を均一にきれ目のないように塗布します。

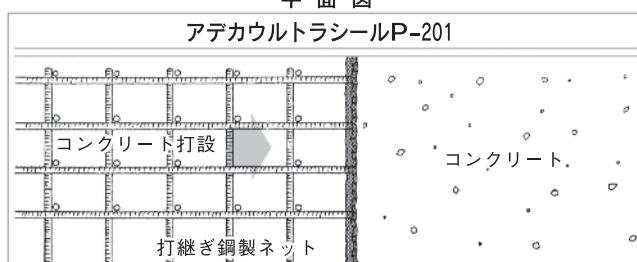
夏期24時間、冬期48時間で完全に硬化し、ゴム弾性が得られます。硬化するまでは、水に接しないようにして下さい。

平面図



2 ネットからはみだしたコンクリート（ノロ）を取り除き、既に塗布したアデカウルトラシールP-201に沿って塗布して下さい。ネットやコンクリートがむき出しにならないよう、均一に、途切れることのないよう塗布して下さい。

平面図

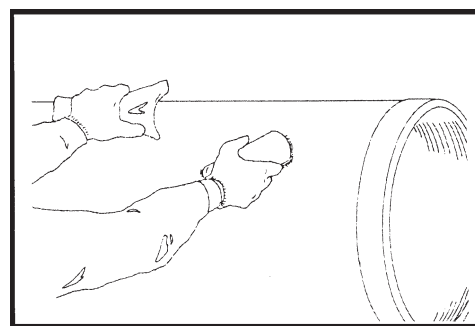
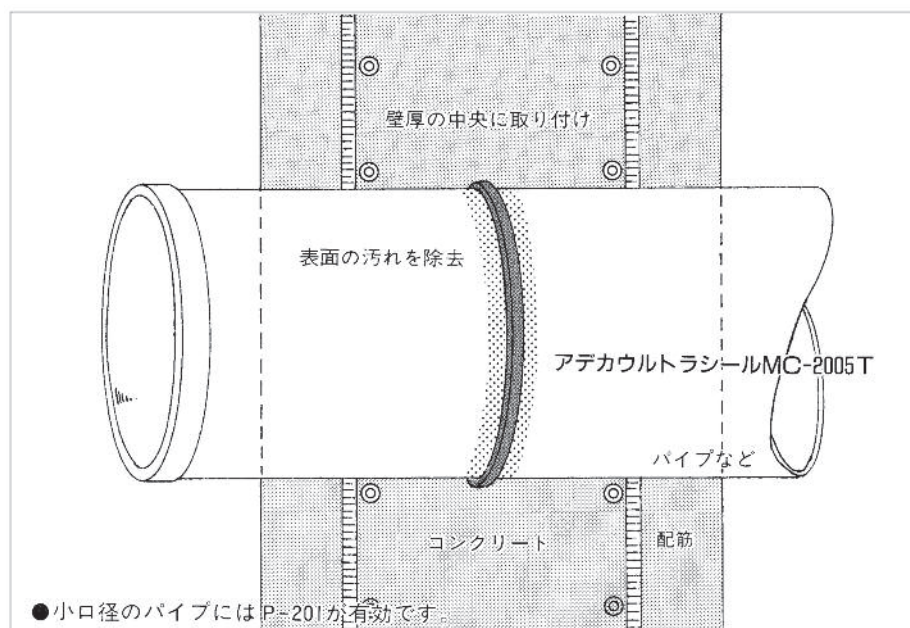


貫通部に施工する場合

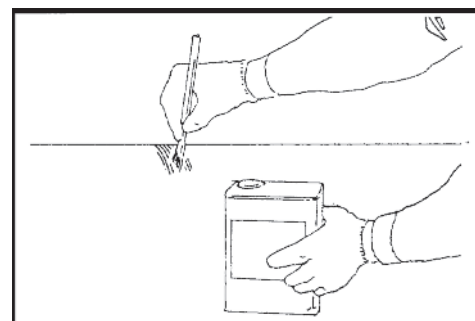


コンクリート新規打設の場合

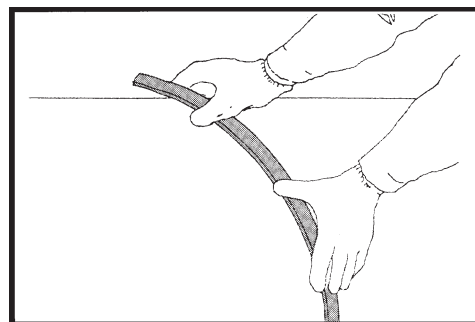
ウルトラシール貼り付け手順



1 貫通部（コンクリートパイプなど）の表面の汚れを除去します。

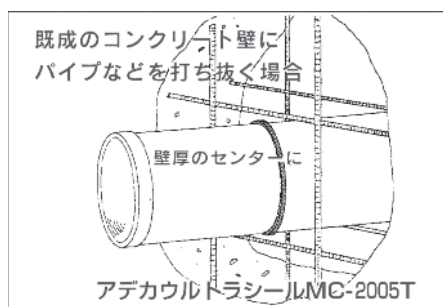


2 ウルトラシール取付部分に、アデカウルトラボンドH-1000を塗布します。（夏期15分、冬期30分で乾燥）

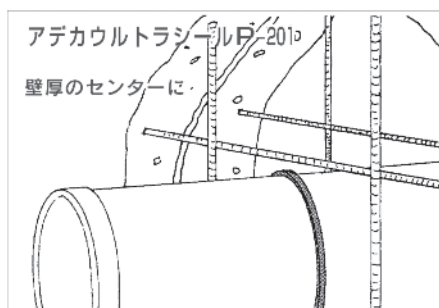


3 アデカウルトラシールMC-2005Tを貼りつけます。径が600φ以上はMC-2010Mをご利用下さい。

箱抜き、コア抜きの場合



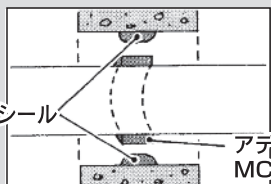
貫通部（コンクリートパイプなど）の壁厚の中央部にアデカウルトラシールを取り付けます。



既設コンクリート面の壁厚の中央部にアデカウルトラシールP-201を切れ目なく塗布します。（巾20ミリ、厚さ5ミリ：ノズル1段めのラインでカット）

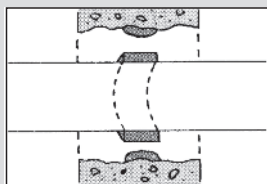
箱抜き 断面図

アデカウルトラシール
P-201



コア抜き 断面図

アデカウルトラシール
MC-2005T



アデカ製品をご使用になられる皆様へ

- ・アデカ製品の取り扱いにおいては、化学物質による事故防止の為、当社発行のMSDS（製品安全データシート）を充分にご活用ください。
- ・本カタログ上での製品の試験データは、当社試験法または規定の特定条件下で得られた測定値の代表例です。
- ・本カタログの仕様・外観は、商品改良などの理由により、予告なく変更する事がありますので予めご了承ください。
- ・本カタログに記載の用途は、本製品の当該用途への適用結果を保証するものではありません。
- ・本カタログでご紹介した用途への使用に際しては、工業所有権にもご注意ください。

※なお、カタログ内容上ご不明な点、及び詳細データについては、当社研究グループまたは担当営業部署までお問い合わせください。

株式会社 **ADEKA**

<http://www.adeka.co.jp>

本社（機能性樹脂営業部 産業資材G）
福岡支店
機能性樹脂開発研究所

東京都荒川区東尾久7-2-35
福岡市博多区博多駅前3-22-8 朝日生命博多駅前ビル
埼玉県南埼玉郡菖蒲町昭和沼20

〒116-8554 Tel. (03) 4455-2843
〒812-0011 Tel. (092) 411-5656
〒346-0101 Tel. (0480) 85-8157